会　　議　　録

会議名 （審議会等名）		令和４年度　第６回横山地区まちづくり会議		
事務局 （担当課）		中央区役所　中央６地区まちづくりセンター 電話０４２－７０７－７０４９（直通）		
開催日時		令和４年１１月１４日（月）　１９時３０分～２０時５０分		
開催場所		横山公民館 １階　大会議室		
出席者	委　員	１１人（別紙のとおり）		
	事務局	３人（中央６地区まちづくりセンター所長　ほか２人）		
公開の可否		■可　□不可　□一部不可	傍聴者数	０人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
		１　開　会 ２　議　題 （１）まちづくり会議の検討課題について （２）まちづくり懇談会のテーマについて （３）その他 ３　閉　会		

議　　事　　録

主な内容は次のとおり。（〇は委員の発言、●は事務局の発言）

１　開　会

吉田会長が開会

２　議　題

（１）まちづくり会議の検討課題について

吉田会長から、まちづくり会議で取り組む課題を役員会で検討した結果が報告され、「子どもの見守りと地域とのつながり」というテーマが提案された。

今回は、地域の人間の立場として子ども達の見守りに対して思っていることについて意見を求めた。

委員からの意見は次のとおり。

〇横山小学校ＰＴＡ会長にこの話を投げかけたところ、２年生の保護者に校外指導委員として登校班の編成や朝の見守り活動に協力いただく体制を取ってまだ１年目なので、見えない部分も含めて課題があると思うが、子ども達が安全に安心して成長できる環境づくりに取り組んでいきたい、とのことだった。

〇１１月１日の公民館運営協議会後に横山小学校副校長と話をし、学校で困っていることがないか聞いた。登下校の見守りが希薄になり心配ではあるが、特に問題は出ていないとのことだった。まちづくり会議で子どもの見守りが話題になっているので、学校で問題点があれば教えてほしいと伝えた。校長を交えて改めて話し合いの場を設ける予定。

〇危険個所を見回っている時に、せめて通学路にはカーブミラーをちゃんと付けるとか、街路樹が邪魔じゃないかとか考えるのだが、実際にどこが通学路なのかわからない。通学路はどのように指定しているのか。壱発ラーメンの交差点も歩道橋を渡るようになっているが、横断歩道を渡った方がいいのではないか。

⇒〇壱発ラーメン前の信号は変則なので横断歩道は危ないと思う。

〇登校班がどこに集合するか知っているか。第三者が見て分かった方がいいのか、わからない方がいいのか。横山公民館にも集合場所の看板があるが、とても古い。注意書きを書くなど、時代に合ったものに変えていった方がいいのではないか。

⇒〇通学路を表示するのは、悪い人が待ち構えてしまうので危ない。

〇ふれあい広場で夜遅くまで遊んでいる姿を見ると心配になる。先月変質者が出たし、見守りを行った方がいいと思う。

〇高校生の自転車のマナー、中学生の歩行マナーが気になる。スピードを出していたり、横に広がって歩いていたり、ぶつかった時が怖い。
〇小町通では放課後に子どもの姿を見ない。最近は家に上がらず、玄関先に座ってゲームをしている。
〇下校時にゆで太郎の駐車場をショートカットして通る子がいる。危ないので、見かけた時は声をかけるようにしている。
⇒〇中学生がゆで太郎前の交差点のポールを叩いて遊んでいたので注意した。交差点にいた人は知らんふりだったが、やはり声かけが大事だと思った。
〇てるて公園では土日に子ども達の自転車が産婦人科の前の道路まであふれて停められている。
〇通学路での横断歩道の渡り方は固定にした方がケガや事故のリスクがないと思う。
〇歩車分離の信号があるといいと思う。
⇒〇警察に要望を出したり、危ないのでどうしたらいいか、と投げかけてみる。朝・夕の時間帯に警察に見に来てもらってはどうか。
⇒〇危険個所のチェックをしていても、通学時間帯に見れないのでわからないことが多い。直接通学に携わっている人じゃないとわからない。
〇コロナ禍で「登校班を一列にする」というお達しが出ていたが、7月末に2列になってもよくなり、信号待ちの列は短くなった。
〇とある小学生の保護者が、「昔は緑のおばさんがいたが今はいないので、誰かが当番で１０分でも立っていてくれると嬉しい」と言っていた。
〇１２月１１日に健全育成協議会でパトロールを行い、その後情報交換会を予定している。校外委員にも参加を依頼した。

関係団体に取材をしながら具体的に取り組めることを考えていくこととした。

（2）まちづくり懇談会のテーマについて

髙橋副会長から提案されたまちづくり懇談会のテーマについて、地域づくり部会で施設との交流を持っているという背景はあるが、具体的な質問内容の検討まで至っていない旨が説明された。

委員からの意見は次のとおり。

〇災害が起きた時に私たちがどうするかということが肝心で、横山小学校の体育館は１人あたり2㎡とすると１２０人くらいは収容できる計算だったが、コロナになってから、間隔を空けるために４０人くらいしか収容できない。地域住民を収容しきれない。
〇横山団地の高齢者や足が不自由な人は横山小学校まで避難できない。集会所を

避難所にしてほしいという要望もあったが、解決できていない。

〇横山地区には福祉施設がたくさんある。耐震もクリアできている。収容できる場所を探すと、施設や工場の空いているスペースなどもあると思う。

〇まちづくり懇談会のテーマとするには時期尚早だったかという思いもあるが、災害は待ってくれない。

〇実際のところ、場所はあっても人員的な部分が問題あるのではないか。

⇒〇福祉避難所というのもあるし、地域だけでやっていいのか。施設もいろいろな規模がある。

〇マナーハウス、横山団地には井戸がある。保育園や福祉施設など、災害時には地域の人にスペースを提供すると言っている施設もある。

⇒〇地域の資源をもっと深掘りしてからの方がいいのではないか。

〇企業側も災害時の資源の提供などを決めていると思うが、地域住民が知る機会がない。行政がその情報を持っているならもっと発信してもらいたい。

⇒〇最終的に横山地区の防災マップができればいいと思う。

〇地域の実情を話して、行政はどのように考えているのかを聞きたい。

⇒〇地域側は市長と話がしたい、市側はきちんとした回答をしたいからちゃんと質問してくれという、ギャップがあると思う。要望をするつもりはなく、意見が聞きたいだけなのだが。

⇒〇市側は計画などを作る時は意見を聞きに来るが、決まった後は全然説明に来ない。こちらが聞かないと教えてくれないので聞きたい。

〇テーマの決定はいつまでにすればいいのか。

⇒●１２月中にテーマシートを提出しなければならない。

次回会議で内容をつめて行きながら、開催判断をすることとした。

（3）その他

特になし。

3　閉　会

末永副会長が閉会

以　上

令和４年度　第６回横山地区まちづくり会議委員出欠席名簿

令和４年１１月１４日開催

	所　属　団　体　等		氏　名	備考	出欠席
1	横山地区自治会連合会／自主防災隊	会長／隊長	吉田（よしだ）　貴亮（たかあき）	会長	○
2	横山地区自治会連合会	副会長	坂元（さかもと）　俊美（としみ）		○
3	横山地区社会福祉協議会	会長	髙橋（たかはし）　年廣（としひろ）	副会長	○
4	横山地区社会福祉協議会	副会長	森（もり）　きん子（こ）		
5	横山地区連合自主防災隊	防災専門員	吉村（よしむら）　公一（きみかず）		
6	横山地区ボランティア団体	ボランティア横山代表	石川（いしかわ）　恭子（きょうこ）		
7	横山地区民生委員児童委員協議会	民生委員	佐藤（さとう）　あけみ		○
8	横山公民館	館長	末永（すえなが）　暁子（あきこ）	副会長	○
9	横山地区老人クラブ連合会	副会長	藤井（ふじい）　寿之（としゆき）		
10	相模原交通安全協会横山支部	支部長	茅（かや）　祐司（ゆうじ）		
11	横山小学校ＰＴＡ	会長	松岡（まつおか）　史朗（ふみあき）		
12	清新中学校ＰＴＡ	会計	山田（やまだ）　由紀枝（ゆきえ）		
13	横山地区青少年健全育成協議会	会長	北川（きたがわ）　春恵（はるえ）		○
14	青少年指導委員	地区長	津川（つがわ）　俊雄（としお）		
15	スポーツ推進委員	体育部副部長	大澤（おおさわ）　千津子（ちづこ）		○
16	防犯指導員	―	稲元（いなもと）　則夫（のりお）		○
17	健康づくり普及員	理事	内田（うちだ）　雅子（まさこ）		○
18	保護司	―	山石（やまいし）　三男（みつお）		○
19	横山こどもセンター	館長	志村（しむら）　勝巳（かつみ）		
20	横山地域包括支援センター	センター長	杉田（すぎた）　久美子（くみこ）		○